

業務を見直し、荷主に選ばれる企業へ

旭川校

企業経営・経営戦略

トラック運送業の業務改善講座

研修のねらい

中小企業が多くを占めるトラック運送業界では、ドライバーの高齢化や深刻な人手不足など多くの問題を抱えています。対策として、業界全体で、ICT活用や原価管理による生産性向上を図りながら、ドライバーの労働環境改善に向けた働き方改革を推進している状況にあります。

本研修では、トラック運送業界の現状と今後の動向を理解した上で、自社の経営資源や経営課題の棚卸を行い、自社の将来のありたい姿を考えます。1日目は、自社の現状分析と課題の特定分析を行い、2日目には自社の強みを生かした将来の経営デザインをワークを通して検討します。これらの演習を通して、自社の目標設定に向けた戦略策定、目標設定、課題解決の方法を学びます。

研修期間

2026年 11/4^水～11/5^木
(2日間 14時間)

対象者

トラック運送業の方

(経営幹部、管理者、配車責任者など)

- ・ 人手不足対策や生産性向上を図りたい方
- ・ 業務改善に取り組みたい方

定員 25名

受講料 22,000円(税込)

会場

中小企業大学校 旭川校

旭川市緑が丘東3条2丁目2番1号

研修のポイント

- ☑ **トラック運送業界の今後の展望や課題を北海道地域の現状を踏まえて学びます。**
- ☑ **事例や自社分析を通じて自社を取り巻く事業環境と自社の課題を理解できます。**
- ☑ **トラック運送事業者版の経営デザインシートを作成することで自社の未来を考える枠組みを設計し自社に持ち帰ります。**

月 日	時間	科目	内容
11/4 ^水	10:20～10:30	開講式 オリエンテーション	
	10:30～12:00	トラック運送業界の 現状と展望	◆トラック運送業の現状や市場の変化と北海道地域の運送事業の課題を整理する ◆バックキャストイングの手法を用いてトラック運送事業の成長戦略を考える
	13:00～15:00	自社の分析と課題の 抽出(演習)	◆SWOT分析などのフレームワークを用いて、自社を取り巻く固有の環境と、自社の強みと弱み、競合他社の状況を整理する ◆課題解決の手法を理解する ◆参加者間の相互フィードバックにより、新たな気づきを発見する
	15:00～18:30	交流会	受講者同士の懇親と情報交換
11/5 ^木	18:45～20:15	課題解決に向けた 将来の事業構想の 作成(演習)	◆課題解決に向けた自社の強みの再認識 ◆今後の価値を生み出す仕組みの検討 ◆トラック運送事業者向けの経営デザインシートの作成 ◆自社の将来の構想の整理と「見える化」
	9:00～12:00	10年後のありたい姿 (演習)	◆自社の10年後のありたい姿、目標の言語化 ◆10年後を見据えた現在からの具体的な課題解決プロセスの考察 ◆課題解決への決意表明
	13:00～16:00	総括	◆顧客交渉の活用術 (物流コストの分析、顧客への提案方法)
	16:00～17:00	終講式	
	17:00～17:20		

※研修内容・日程等は変更になる可能性がありますので予めご了承ください。

講師紹介(敬称略)



O & Acorns 代表

中小企業診断士、板橋中小企業診断士協会理事国際部長、
東京都中小企業診断士協会城北支部ロジスティクス研究会代表

平野 修(ひらの おさむ)

1983年から国内大手物流企業勤務。トラック輸送、海運、倉庫、情報システム、宅配事業、国内外監査部門等多岐に渡る物流事業を経験。2009年に職中に中小企業診断士資格取得。2018年にコンサルタントとして独立。中小事業者の創業支援、SDGs経営支援、都内物流事業者の経営改善、近年では2024年問題に関わる講演等を実施。東京オリンピック・パラリンピック準備局 物流TDM実行協議会委員を歴任、東京都中小企業振興公社登録専門家、健康経営エキスパートアドバイザー
著書：「中小企業の持続的成長を支える管理の仕組みづくり」(2016年 税務経理出版) 共著、「流通ネットワーク」(2021年5・6月号(日本工業出版社) 寄稿他



ゆめおり WORKS 代表

中小企業診断士、東京都中小企業診断士協会城北支部国際部

半田 泰代(はんだ やすよ)

外資系消費財メーカー、EC小売業でサプライチェーン構築や国際物流を中心に従事。ICTを活用した購買や流通の自動化を図る取組みや、購買や物流の業務オペレーションの効率化に取り組んできた。物流倉庫やコールセンター、仕入先企業に向けたオペレーションマニュアルの策定や、新プロジェクト立ち上げ時の業務構築にも多数携わる。2022年から経営コンサルタントとして独立。ECに代表されるBtoC物流のプロセス改善や、KPIに基づく経営支援、在庫管理や倉庫オペレーションの自動化を支援する。また、国際物流の経験を生かし、越境ECのオペレーション構築を支援する。独立行政法人中小企業基盤整備機構 新販路開拓アドバイザー。

